

第1回宗像市防災会議議事録

日 時:平成 29 年 12 月 14 日(木)10 時 00 分～10 時 40 分

場 所:宗像市役所 103 会議室

出席者:谷井会長、渡辺委員、藤田委員(代理)、金子委員、松永委員、北島委員、福崎委員、木村委員、三好委員、篠原委員、中野委員、瀧口委員、遠矢委員、灘辺委員、吉武委員、勝連委員、亀山委員、芳野委員、北村委員、福澤委員、江上委員(代理)、津留委員、水上委員、花田委員、中村委員、柴田委員、竹野委員、石橋委員、牟田委員、伊賀委員、近藤委員、石山委員、石松正次委員、大和委員、中村委員、鍋山委員

欠席者:中島委員、久芳委員、石松豊幸委員

事務局:(地域安全課)高崎課長、田中係長、藤原、田中、松尾

【 会議内容 】

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 会長あいさつ

本日ご出席の皆様には、本市の防災行政に対してお力添えをいただいているが、地域の安全・安心を実現するためにはさらなる防災力の強化が必要である。

自然災害そのものを防ぐことはできないが、不測の事態に際し、最大の備えをして最小の被害にとどめるためには、自分で自分を守る「自助」、地域で互いに助けあう「共助」、行政が支援する「公助」が一体となって取り組んでいく必要がある。

4. 自己紹介
5. 協議事項

以下の項目について説明(説明内容は省略)

地域防災計画の見直しのポイントについて資料(P1～P9)

質疑・応答なし

6. 報告事項

宗像市の防災対策事業について資料(P10)

(質疑・応答)

水 上 委 員: 避難行動要支援者名簿の差し替えをしてもらっているが、これは誰が保有しているものか。

田 中 係 長: 避難行動要支援者名簿は、自主防災組織の長である自治会長と民生委員、宗像地区消防本部にお渡ししている。

石 橋 委 員： 自主防災組織について、各自治会ではほぼ組織されていると思うが、役員が1年で交代しているところが多いため、なかなか機能していない。どうすれば現実的に機能するようになるかと考えるか。

高 崎 課 長： 自主防災組織は、平原自治会以外では設立済。おっしゃるとおり、自治会長が会長を兼ねているところが多いのが現状である。

市では平成25年度から防災士の育成に取り組んでおり、5年間で新たに220人の防災士が誕生している。市の事業以外にも、自主的に、警察官、郵便局、九電関係の方などが、防災士の資格を取っており、今回、日本防災士機構から宗像市在住の約300人の防災士の名簿の提供を受けた。この名簿は本人の承諾のもと、各コミュニティに提供し、各自主防災組織のリーダーになってほしいとお話している。

地域安全課にも自衛隊OBの防災専門官がおり、各自主防災組織の中に入って支援している。その中でも、地域の防災計画を策定しながら、防災士を活用し、毎年リーダーが変わらないような組織作りをしていく必要があると考える。

現在はまだその途中の段階である。

谷 井 会 長： 全自治会143のうち、142の自治会で自主防災組織が設立されている。今後は防災士を活用してもらいたい。また、防災専門官もいるので、ぜひ呼んでももらいたい。十分ではないと考えており、密に行っていきたい。

7. その他

以下の項目について説明(説明内容は省略)

平成30年度の防災会議について資料(P11)

質疑・応答なし

8. 閉会